

令和4年度 事業報告

I. 会議の開催状況

1. 理事会

(1) 令和4年4月25日 第39回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員候補者の決定について

(2) 令和4年5月24日 第40回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

①令和3年度事業報告及び収支決算について

②評議員会の開催について

③報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 令和4年6月10日 第41回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①役員の選定について

(4) 令和4年8月5日 第42回理事会は理事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①監事の選任について

(5) 令和5年2月15日 第43回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員会の開催について

(6) 令和5年3月29日 第44回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

①令和4年度事業計画及び事業会計予算の補正について

②令和5年度事業計画及び事業会計予算について

③理事長の選定について

④報告 役員の選任について

⑤報告 評議員の選任について

⑥報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

2. 評議員会

(1) 令和4年5月6日 第25回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員の選任について

(2) 令和4年6月10日 第26回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

①令和3年度事業報告及び収支決算について

②役員の選任について

③報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 令和4年8月19日 第27回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①監事の選任について

(4) 令和5年3月29日 第28回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

①役員の選任について

②評議員の選任について

③常勤理事の報酬額について

④報告 令和4年度事業計画及び事業会計予算の補正について

⑤報告 令和5年度事業計画及び事業会計予算について

⑥報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

3. 監査

令和5年5月19日 令和4年度決算について監事から監査を受けた。

監査の結果、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は適正であると認められた。

4. 賛助会員合同会議

令和4年8月24日 賛助会員との連携を深めるため、合同会議を徳島県立産業観光交流センターにおいてハイブリッドで開催し、記念講演を行ったほか、観光事業功労者及び観光施設優良従業員の表彰を行った。

5. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書をホームページで公開している。

Ⅱ. 業務の概要

1. 観光振興事業

観光振興事業では、観光情報サイト「阿波ナビ」やSNSを活用し、タイムリーな情報発信に努めたほか、市町村やDMO等観光関連団体と連携した新たな観光資源の発掘や支援、観光商談会等への参加による誘客促進に努めた。

また、県からの受託事業として、県内の観光産業を担う人材の育成のため、「とくしま観光アカデミー」の運営を行う「とくしま観光人づくり事業」や、Withコロナでの県内観光産業を支援するため、旅行商品代金の助成等を行う「みんなで！とくしま応援割事業」「みんなで！徳島旅行割事業」等を実施した。

2. コンベンション振興事業

コンベンション振興事業では、3年ぶりにリアルで開催された「国際MICEエキスポ」や「中国四国地区コンベンション誘致懇談会」に参加するとともに、コンベンション主催者に対して、施設利用プランや関係事業者の紹介などの情報発信と誘致活動に努めたほか、主催者に対する開催費の助成等を行った。

海外からのMICE誘致等促進事業としては、3年ぶりにリアル開催された「VISIT JAPAN トラベル& MICE マート」や現地で開催された旅行博等への参加、現地での営業を実施した。また、オンラインでの商談会や各種イベントなどにも参加し、アフターコロナに向けた誘客と情報収集に努めた。

3. 施設等管理運営事業

「アスティとくしま」及び「ときわプラザ」の運営については、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、利用促進や地域の活性化を目的とした利用促進事業等を実施するとともに、SDGsを推進し、「安全・安心・快適」で「利用しやすい」施設づくりに取り組んだ。

「渦の道」及び「大鳴門橋架橋記念館エディ」の運営についても、同様に新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、自主事業の開催や国内外の旅行会社等に対する営業活動を行うなど、入館者数の拡大と顧客満足度の向上に取り組んだ。

令和4年度 事業報告（附属明細書）

観光振興事業

1. 自主事業

（1）観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

観光情報サイト「阿波ナビ」を活用し、年間を通してタイムリーな観光情報を発信するとともに、Facebook や Instagram、TwitterなどのSNSを活用した情報発信を実施した。

また、徳島県が実施する「阿波ナビ」のリニューアルに向け、コンテンツの充実や見直しなどに連携・協力し、情報発信機能の強化を図った。

② 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア（下り線）内にある観光情報ステーションにおいて、パンフレット、ポスター、のぼり、映像等により本県の観光情報を発信し、観光客の誘致を図った。令和4年度においては、パンフレットの補充・更新をGW前などに8回実施した。

③ 徳島魅力あふれる観光素材収集活用事業

県内在住の写真家宮武健仁氏が撮影した県内各地の観光資源写真50点を提供していただき、当協会が使用权を有する自由度のある観光素材として、活用できるようにした。

④ 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光と物産の魅力を発信し訪日客等の誘致につなげるため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱し、特使の人脈を活かした徳島の観光PRを推進した。

⑤ 感動とくしま再発見！フォトコンテスト事業

徳島県の物産品や観光資源の魅力を再認識し、県内外に発信するため、徳島県物産協会と当協会の共催により「感動とくしま再発見！フォトコンテスト」を実施した。応募数428作品（物産部門108作品、観光部門320作品）の中から、最優秀賞（1点）、優秀賞（3点）、奨励賞（10点）及び審査員特別賞（2点）を選考した。

なお、観光部門の優秀作品で「とくしま観光カレンダー」を作成した。

〔観光部門〕

最優秀賞	「伝統の光（那賀町 大宮八幡神社）」	森野 淳 氏
優秀賞	「朝焼けの樹氷（那賀町 高城山）」	平井 滋 氏
奨励賞	「光の川（徳島市 阿波しらさぎ大橋）」	北畑 充朗 氏
	「桃源郷（つるぎ町 柴内）」	酒井 利恵 氏

	「一番さん（鳴門市 一番札所霊山寺）」	山尾 家正 氏
	「夕陽に輝く内の海（鳴門市 内の海）」	島田 賀代 氏
	「満月明朝に（小松島市 小松島港）」	谷口 果和 氏
審査員特別賞	「桃源郷（つるぎ町 柴内）」	酒井 利恵 氏

〔物産部門〕

優秀賞	「徳島の冬の風物詩・シラスウナギ漁」	高野 利之 氏
	「レンコンの収穫」	島田 賀代 氏
奨励賞	「これこれ！とくしまさいこー！！」	佐藤 聖子 氏
	「しじみ漁師の休息」	岡三 希生 氏
	「竹林の中で」	大栗 洋子 氏
	「大谷焼」	山尾 家正 氏
	「かずらの編み物」	上笹 広二 氏
審査員特別賞	「徳島の冬の風物詩・シラスウナギ漁」	高野 利之 氏

（２）観光客誘致促進事業

① 未来を創るSDGsプログラムブラッシュアップ事業

本県独自の教育旅行プログラムをSDGsの切り口でブラッシュアップするため、先進県のSDGsプログラムの情報収集を行うとともに、徳島県内のDMO等や高等教育機関と連携し、SDGsプログラムをとりまとめた。

② 四国観光協会連合による四国域内流動活性化事業

四国４県観光（物産・コンベンション）協会で構成する四国観光協会連合が実施する「第７回おもてなし感激大賞２０２２」の準大賞を「お宿すだち庵」が受賞した。

③ アフターコロナ魅力発信事業

徳島県名古屋事務所及び（公社）徳島県物産協会名古屋支部と連携し、愛知県名古屋市で開催されたトラベルランドに出展を行い、徳島県の観光PRや県産品の販売を行った。

・TRAVEL LAND トラベルランド

（開催日）令和４年６月１８日（土）～１９日（日）

（開催場所）エディオン久屋広場（愛知県名古屋市）

④ メディア活用宣伝事業

高速道路SAや道の駅で無料配布する「わおマップ」イーストとくしま版に広告掲載し、県央エリアの観光情報等を重点的に提供し、観光客の誘致に努めた。

また、ニコニコオンラインバスツアーの徳島県での初開催に向けた支援を行い、本県への誘客に努めた。

⑤ 観光とくしま消費拡大キャンペーン事業

コロナ禍により実施を見合わせた。

(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入体制整備事業

コロナ禍により外国人観光客が途絶えていることなどから、これまでに作成した体験手順を阿波ナビで発信した。

② 観光関連事業団体の連携支援事業

県内の観光ガイド・観光ボランティアガイド団体等に向けて、当協会が実施するセミナーや、日本観光振興協会のオンラインセミナー等の情報を提供した。

2. 県からの受託事業

(1) 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業

「オール徳島」で旅行需要を喚起させるため、官民一体となった「観光プロモーション」を実施し、一般消費者や旅行会社向けの誘客営業を展開した。

① 「#徳島あるでないで」キャンペーン事業

大手旅行会社（OTA含む）や航空会社とタイアップし、各社ホームページでの宿泊プラン等の設定など本県の誘客推進につながるキャンペーンを実施した。なお、割引クーポンの発行は、全国を対象とした「みんなで！徳島旅行割」が継続的に実施されたことから実施しなかった。

② 旅行会社向けセールス等実施事業

旬の観光素材や助成制度を周知するため、主要都市において、旅行会社向けの商談会等への参加やセールス等を実施するとともに、旅行会社への助成を行い、本県への旅行商品の造成を促進した。

ア 旅行会社への営業

旅行会社等が主催する商談会に参加し、観光素材や助成制度等の説明を行った。

・「オール徳島」観光商談会

（開催日）令和4年5月31日（火）

（開催場所）ホテル雅叙園（東京都）

・阪急交通社国内旅行推進協力会 中・四国支部商談会

（開催日）令和4年6月1日（水）

（開催場所）グランドプリンスホテル広島（広島市）

・ツーリズムEXPO2022 JAPAN（業界日商談会）

（開催日）令和4年9月22日（木）～23日（金・祝）

（開催場所）東京ビッグサイト（東京都）

・阪急交通社国内旅行推進協力会 中・四国支部商談会

（開催日）令和4年12月7日（水）

（開催場所）ことひら温泉琴参閣（香川県琴平町）

イ 旅行会社向けの支援

旅行会社の旅行商品造成のための視察に対して経費の一部を助成した。

(視察数) 1 件

ウ その他

- ・教育旅行の誘致に係る意見交換会

(開催日) 令和4年9月7日(水)

(開催場所) ターンテーブル(東京都)

(実施内容) 首都圏からの教育旅行の誘致に向けて、大手旅行会社の教育旅行担当者へのプレゼン及び意見交換等を行った。

- ・近いよ徳島！まるごと体感イベント

(開催日) 令和5年3月10日(金)

(開催場所) ターンテーブル(東京都)

(実施内容) 次世代交通課より依頼を受け、東部・西部エリアの観光PRを行った。

(2) 周遊促進！徳島観光すいすい事業

観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する企画旅行商品に対して貸切バス料金の一部を助成した。

(ツアー数) 151 件

(バス台数) 330 台

(集客人数) 9,685 名

(3) 阿波おどり「春夏秋冬エキサイティング」事業(冬) ※冬の阿波おどり

閑散期である冬期の観光誘客を促進するため、阿波おどりを組み込んだ企画旅行商品に対して経費の一部助成を行うとともに、商談会等で助成制度を紹介した。

(助成ツアー数) 4 件

(集客人数) 99 名

(4) 徳島ー福岡線利用による旅行商品造成促進事業

(助成ツアー数) 4 件

(集客人数) 166 名

(5) とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や、徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。

(問合せ件数) 54 件

(支援件数) 20 件

(6) 観光情報提供システム整備事業

徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行い、観光客の誘致促進や受け入れ体制の充実を図った。

(7) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信を行った。

また、以下のとおり県内外臨時観光PRブースの運営を行った。

・TRAVEL LAND トラベルランド

(開催日) 令和4年6月18日(土)～19日(日)

(開催場所) エディオン久屋広場(愛知県名古屋市)

(8) 着地型観光・コンベンション事業

県内の着地型観光プラン等を作成し、旅行AGTへの売り込みを行うとともに、コンベンションの誘客促進や開催決定後のサポートを行った。

(9) とくしま観光人づくり事業

県内の観光産業を担う人材の育成・活用のため、体系的な「学びの場」として、徳島大学と一般社団法人イーストとくしま観光機構との共催による「とくしま観光アカデミー」の運営を実施した。

(実施期間) 令和4年11月15日(火)～令和5年1月28日(土)

(実施内容) オンライン7講座、ハイブリッド講座7講座、演習講座2講座を実施した。

① 共通講座(2講座) 内容：観光学基礎

② 専門講座(4講座×3コース)

ア ビジネスコース

目的：観光人材の即戦力強化

対象：観光事業従事者

内容：観光経営学、観光マーケティング論 ほか

イ チャレンジコース

目的：次代の観光産業の担い手育成

対象：高校生、大学生、社会人

内容：地域観光学、観光キャリアデザイン論 ほか

ウ 地域で活躍コース

目的：地域で活躍する観光人材の創出

対象：県民、観光ボランティア、徳島GGクラブ会員、
アクティブシニア

内容：地域・地元学、ホスピタリティ論 ほか

③ 演習講座（１講座×３コース）

ア ビジネスコース・チャレンジコース

相互交流を図るため、合同受講とし、課題演習を実施した。

日時：令和５年１月２８日（土）１４：００～１６：３０

場所：シビックセンター

参加者：１７名

イ 地域で活躍コース

ガイド実地演習及び参加者による交流会を実施した。

日時：令和５年１月１４日（土）１３：００～１５：００

場所：阿波おどり会館及び周辺市街

参加者：１９名

（参加申込数）９３名、各コースにおける全講座修了者は１１名
申込者限定でアーカイブ配信も実施

（１０）阿波おどり「とくしま連」運営事業

※徳島市阿波おどりは開催されたが、とくしま連は実施しなかった。

（１１）「みんなで！とくしま応援割（２期）」実施事業

コロナ禍が長期に及ぶ中、県内の観光需要を継続的に喚起するとともに、県民に本県の魅力を再発見してもらうなど、徳島県の観光産業を支援した。

① 「みんなで！とくしま応援割」

（実施期間）令和３年８月１日（日）～令和４年１０月１０日（月・祝）

（実施内容）県内在住者が県内の登録宿泊施設で宿泊をする場合、上限額（１人１泊最大５千円）の範囲内で宿泊料の助成を行った。

※令和３年１２月以降、順次「隣接県」を追加

② とくしま周遊クーポン

（実施期間）令和３年８月１日（日）～令和４年１０月１０日（月・祝）

（実施内容）「応援割」を利用して宿泊をする場合、上限額（２千円）の範囲で、県内の観光や交通に利用できるクーポン券を提供した。

※①、②共通

（参加施設等数）宿泊施設：２３９施設

旅行会社：徳島県内４９社、徳島県外２２３社

利用対象施設：１，３６５施設

（１２）「みんなで！徳島旅行割」実施事業

（実施期間）

第１期：令和４年１０月１１日（火）～令和４年１２月２７日（火）

第２期：令和５年１月１０日（火）～令和５年３月３１日（金）

① 「みんなで！徳島旅行割」

（実施内容）

全ての都道府県に居住する旅行者を対象に、県内の登録宿泊施設で宿泊又は日帰り旅行をする場合、以下のとおり旅行商品代金の助成を行った。

- ・第1期：割引率40%
割引上限額交通付旅行商品8,000円（一泊当たり）
（鉄道、バス、タクシー・ハイヤー、航空、フェリーなど）
上記以外5,000円（日帰り旅行含む）
- ・第2期：割引率20%
割引上限額交通付旅行商品5,000円（一泊当たり）
（鉄道、バス、タクシー・ハイヤー、航空、フェリーなど）
上記以外3,000円（日帰り旅行含む）

② とくしま周遊クーポン

（実施内容）

「旅行割」を利用して宿泊をする場合、上限額の範囲内で、県内の観光や交通に利用できるクーポン券を提供した。

- ・第1期：紙クーポン
クーポン付与額：平日3,000円（上限）、休日1,000円（上限）
- ・第2期：原則、電子クーポンとする。
クーポン付与額：平日2,000円、休日1,000円

※①、②共通（令和4年度末現在）

（参加施設等数）宿泊施設	： 1 9 0 施設
旅行会社	： 2, 9 8 4 社
利用対象施設	： 8 9 6 施設

3. 収益事業

（1）自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップ、とくしま観光カレンダーへの広告掲載等により収益拡大に努めた。

また、賛助会員の拡充による組織基盤の強化に努めた。

① 徳島県観光ガイドマップ作成事業

年度途中に2022年度版の徳島県観光ガイドマップを10万部増刷した。また、2023年度版の徳島県観光ガイドマップを10万部作成した。

コンベンション振興事業

1. コンベンション振興事業

(1) 誘致対策事業

① コンベンショントレードショーへの参加

ア 第32回国際MICEエキスポへの参加

3年ぶりにリアルで開催され、主催者に対しては、コンベンション施設・宿泊施設情報や、助成制度等各種支援内容、ハイブリッド開催でのWEB環境などを提案し、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた本県へのコンベンション誘致に努めた。

(開催日程) 令和5年2月16日(木)

(場所) 東京国際フォーラム

(セラー) 88団体・73ブース

(主催者等) 国内266名、海外23名 計289名

イ 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区9県15都市のコンベンション推進団体で構成される「中国四国地区コンベンション誘致推進協議会」主催で3年ぶりに開催された。

多くのコンベンション主催者が来場され、本県のコンベンション施設や助成制度等の説明を行い、誘致に努めた。

(開催日程) 令和4年12月1日(木) 15:00~20:00

(場所) 品川プリンスホテル

(来場者数) 82団体130名

ウ 「MICE EXPO in Kansai 2022」への参加

大坂で初めて開催された「MICE EXPO in Kansai 2022」に出展し、関西圏からのコンベンション誘客に努めた。

関西を拠点とするコンベンション主催者や運営事業者、旅行会社等が来場され、本県のコンベンション施設や宿泊施設、助成制度などを紹介し、誘客に努めた。

(開催日程) 令和4年12月7日(水)~12月8日(木)

(場所) インテックス大阪

(来場者数) 2,775名

② 企画提案・視察支援事業

コンベンション主催者に対して、本県での開催におけるコンベンション施設利用プランや関連事業者を紹介した。

また、本県をコンベンション開催候補地として検討中の主催者に対しては、視察支援を実施するとともに、会場や宿泊施設の空き状況等の確認や、各種調整を行った。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会会員にコンベンションカレンダーや助成制度の情報を提供するとともに、県内の各種関係団体と連携した誘致活動を推進した。

また、国際MICEの誘致促進に向けて同協議会内に部会を設け、第1回会合を開催し、今後の誘致策について議論した。さらに、協議会の開催に合わせ会員に対しMICE・観光振興講演会を実施し、ウィズコロナ・アフターコロナにおけるコンベンション振興に努めた。

ア とくしまコンベンション誘致推進協議会・国際MICE誘致促進部会の開催

（開催日時）令和4年10月21日（金）11：00～

（開催場所）徳島県万代庁舎 9F 901会議室

（議 題）国際MICEの取組について

（委 員）出口 祥啓 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 教授

高山 哲治 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 教授

浅川 義範 徳島文理大学 薬学部 教授

杉田 弘樹 JTB徳島支店 支店長

その他 徳島県観光協会、徳島県商工労働観光部

イ とくしまコンベンション誘致推進協議会及びMICE・観光振興講演会の開催

（開催日時）令和5年3月27日（月）15：00～

（開催場所）アスティとくしま 2F 第5会議室

（開催内容）第1部 とくしまコンベンション誘致推進協議会

第2部 MICE・観光振興講演会

「演 題」アフターコロナの国際会議誘致・開催への取り組み

「講 師」出口 祥啓 氏

（徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授、
日本政府観光局MICEアンバサダー）

（参加者数）30名（WEB16名・会場14名）

④ コンベンションセミナーの開催

コロナ禍により、対外的な研修活動が縮小したため、事業を中止した。

⑤ 広域連携による誘致促進事業

各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、同規模の学会等が開催される都市のMICE関連機関と連携し、積極的な情報収集に努めた。

(2) 受入支援事業

① コンベンション開催支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し開催費を助成した。

(交付件数) 41件

(交付金額) 22,798,330円

② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業

開催されたコンベンションでは、主要観光施設の優待券や各種観光パンフレット等を提供した。また、WEB併催又はWEB開催となったコンベンションにおいては、主催者ホームページで本県の観光情報の紹介を行うなど、魅力的な体験観光の紹介をした。

(優待券の配布) 14件・5,000部

③ MICEおもてなし事業

全国規模の大規模コンベンションに対しては、徳島駅及び徳島阿波おどり空港での歓迎看板を設置した。また、会場での物産展の開催について、関係団体と連携し、ブースを設置した。WEB開催となったコンベンションに対してはWEB上で公開する動画や写真の提供を行った。

④ MICEワンストップ事業

コンgresバッグの手配、記念品・特別講演の企画提案、弁当事業者の紹介等を行った。また、大規模コンベンション開催時には、県内交通事業者への協力依頼を行うとともに、シャトルバス運行の支援を行った。

⑤ 関係団体との連携

国内及び国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO(日本政府観光局)、JCCB(日本コンgres・コンベンションビューロー)等のノウハウや情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携し、開催計画などの情報収集や意向調査を行った。

(3) 海外からのMICE誘致等促進事業

① 南海・徳島フリーパスへの支援

アフターコロナや2025年大阪・関西万博に向けたインバウンドの増加を見据えて、南海電気鉄道、南海フェリー、徳島バス、徳島市交通局と連携した、電車・フェリー・バスのフリーパス(令和5年3月10日から発売)への支援を行った。

② 各種インバウンド商談会への参加

VISIT JAPAN トラベル& MICE マートへの参加

(開催日時) 9月22日(木)・23日(金・祝) 9:00~18:00

24日(土) 9:00~12:00

(開催場所) 東京ビックサイト 東展示棟 東6ホール

(商談件数) 21社(リアル8社、オンライン13社)

- ③ 「アドベンチャーツーリズム徳島」発信事業
コロナ禍により事業実施を見合わせた。

④ 中国・香港からの誘致

ア 「日中トラベルサミット2022」への参加

（開催日程）令和5年2月21日（火） リアル

2月22日（水） オンライン開催

（参加者）中華圏の旅行会社等 23社

国内観光関連団体等 13社

イ 秋の阿波おどりライブ配信（香港）（通訳）

香港で毎年実施されている「日本秋祭りin香港」での「秋の阿波おどり
ライブ配信」の支援を行い、アフターコロナに向けたPRを行った。

（開催日時）令和4年11月6日（日）15:00～16:00

（主催）日本秋祭りin香港実行委員会

（在香港日本国総領事館、香港日本人商工会議所ほか）

ウ 香港都会大学「オンライン授業」ライブ配信

香港都会大学で実施の日本の各自治体と連携したオンライン授業「細説
日本都道府県之最」にて、関係団体と連携し、本県の紹介と美馬市協町う
だつの町並みからのライブ配信を行った。

（実施日時）令和5年2月1日（水）13:30～14:30（現地時間）

（実施内容） ・当協会から県内観光の説明

・美馬市協町うだつの町並み 中継

・徳島県クイズ など

（協力）在香港日本国総領事館、

徳島県（観光政策課・西部総合県民局）、

美馬観光ビューロー、徳島県観光協会

⑤ 台湾からの誘致

ア 台北プロモーション実施事業

コロナ禍により、多くの台湾人の日本旅行への欲求が募っていることか
ら、台北において、「Feel the 四国」SHIKOKU festa 四国美食・
音楽・祭典・観光嘉年華を実施し、四国・徳島の魅力を紹介した。

試食ブースの運営は、四国県人会の協力により実施した。

（開催日程）令和4年11月12日（土）、13日（日）

（開催場所）台北 花博公園内「MAJI集食行楽円形廣場」

（開催内容）ステージイベント（阿波踊り）、食の試食（フィッシュカツ）、

モニター画面を通したオンライン観光地紹介

（参観人数）11,875名

イ 四国と台湾の縁を学ぶオンラインセミナー

台湾からの誘客を図る四国の観光事業者が、四国と台湾の縁を知ることと、台湾人が四国に求めていることや台湾人にPRしたいことに気づき、誘致手法や受入時のおもてなしの創意工夫に繋げ、台湾からのインバウンド誘致促進の機運醸成を図り、インバウンド再開の弾みになるよう、セミナーを実施した。

（開催日時）令和5年2月10日（金）13：00～（日本時間）

（開催場所）台湾花蓮県 慶修院ほか

（開催内容）①講演：徳島大学教授 荒武 達朗 氏
演題：「100年前の台湾に渡った徳島移民
：荒野を切り拓いた人びと」

②花蓮オンラインツアー

慶修院（花蓮縣指定の古跡）や吉野村周辺など

台湾と四国の縁が深い史跡の案内

（参加者数）69名

ウ 産官学民連携の教育旅行受入支援体制づくり

四国運輸局、四国各県・各県観光（物産・コンベンション）協会、日本観光振興協会四国支部と連携し実施している訪日台湾教育旅行誘致事業を一層発展させるため、四国内の産官学民で構成する「訪日台湾教育旅行四国交流支援特使制度」を設け、徳島県から5名を特使として委嘱し、就任いただいた。

- ・徳島大学 総合科学部教授 荒武 達朗 氏
- ・徳島文理大学 薬学部教授 瀬津 弘順 氏
- ・大歩危峡まんなか代表取締役会長 大平 克之 氏
- ・株式会社サンエックス情報システム 代表取締役 外山 邦夫 氏
- ・徳島台湾研究会 会長 豊井 泰雄 氏

エ 現地セミナー・オンライン個別相談会

日本政府観光局（JNTO）が主催する「訪日教育旅行現地セミナー・オンライン個別相談会」に4県観光協会・四国支部の5ブースを設けオンラインで参加し、個別相談を実施した。

台湾会場のブースには、四国と連携している太平洋世界旅行社に通訳として参加いただいた。

（開催日時）11月22日（火）13：00～17：50（日本時間）

※8セッション実施

（開催場所）台湾…台北晶華酒店及びオンライン、日本…オンライン

（参加者数）【台湾側】学校関係者180団体、【日本側】42団体

オ 日台教育旅行関係者交流会・台湾教育関係者招請事業

日本政府観光局（JNTO）が主催する「日台教育旅行関係者交流会」に参加するとともに、国内招請事業として台湾教育関係者を四国に招き、四国徳島の観光資源等を視察していただいた。

また、視察や交流会等において、台湾の先生方にコロナ禍前より深く四国徳島を知っていただけるよう、訪日台湾教育旅行四国交流支援特使に参加・協力いただいた。

・日台教育旅行関係者交流会

（開催日時）令和5年2月14日（火）9：30～13：30

（開催場所）東京都（京王プラザホテル新宿）

（参加者数）【台湾側】80名、【日本側】68名

・台湾教育旅行関係者四国招請

（開催日程）令和5年2月14日（火）～18日（土）

※14日～15日徳島視察

（行程）14日 交流会、ホテルサンルート徳島泊

※交流会において、徳島県の伝統芸能・阿波木偶箱廻し紹介

15日 SDGs等取組企業視察（株式会社ハレルヤ）

藍染体験（本藍染矢野工場）

美馬和傘工房見学、和傘の解説（美馬和傘制作集団）

インターンシップ等受入取組説明（大歩危峡まんなか）

（視察者）国立臺南高級商業職業学校 校長 黃耀寬 氏

国立臺北科技大學附屬桃園農工高級中等學校 校長 陳勝利 氏

桃園市立桃園特殊教育學校 校長 葉瑞華 氏

新竹市立私立曙光女子高級中学 学務主任 徐芝玲 氏

国立彰化師範大學附屬高級工業職業學校 学務主任 吳建鋒氏

国立竹東高級中學 学務主任 黎怡伶 氏

屏東縣立東港高級中學 秘書 陳貞吟 氏

臺中市立西苑高級中學 社團組長 劉靜宜 氏

カ オンライン学校交流の支援

コロナ禍でのオンライン交流について、日台双方の学生が自らの考えを深め、より強い絆を感じられるよう、交流前から各種調整支援を行うとともに、継続した交流に繋げられるよう、交流後の支援を実施した。

（開催日時）令和4年12月9日（金）15：00～16：15

（交流校及び参加者）

徳島市立高等学校 生徒14名、校長・教員3名

台湾國立潮州高級中學 生徒28名、校長・教員5名

（開催日時）令和4年12月21日（水）15：00～17：00

（交流校及び参加者）

徳島県立つるぎ高等学校 生徒9名、校長・教員3名

台湾國立二林高級工商職業學校 生徒9名、教員4名

キ 台湾教育部國民及學前教育署表敬訪問、台湾学校訪問営業

・教育部國民及學前教育署への表敬訪問

四国ブロック広域観光振興事業推進協議会と台湾国際教育旅行連盟が2019年に締結した包括連携協定を引き継いだ「台湾教育部國民及學前教育署」を表敬訪問し、四国と台湾の相互交流について、引き続き支援を依頼した。

また、訪日台湾教育旅行四国交流支援特使制度を紹介し、四国の新たな取組についてPRを行った。

（訪問日）令和5年2月7日（火）

（応対者）董慶豐簡任一等教育秘書、陳碧玉原特組國際科科长、林香吟臺灣國際教育旅行聯盟2.0總召（高雄市長中山高級中学校長）

・学校訪問営業

11月のオンライン個別相談会で具体的な相談があった学校や、コロナ禍前に四国徳島への教育旅行実施計画のあった学校等を訪問し、コロナ禍後の教育旅行再開に向けて誘致商談した。

（訪問日）2月7日（火）台北市立大安高級工業職業学校

2月8日（水）國立白河高級商工職業学校、國立台南第二高級中学、台南市私立聖功女子高級中学

2月9日（木）國立新化高級中学、國立曾文高級農工職業学校、國立台南女子高級中学

⑥ その他の国からの誘致

ア MITM TRAVEL Fair

（開催日）令和5年3月3日（金）～5日（日）

（開催場所）ステラモール（マレーシア、ジョホールバル）

（実施内容）にし阿波エリアを中心に、徳島の観光PRを実施した。

イ 各種視察ツアーの受入

・漁村漁港公団視察ツアー（韓国） 12名

（開催日程）令和4年11月28日（月）～12月2日（金）

（視察内容）阿波おどり会館などの訪問に加え、県水産振興課と連携し、徳島中央卸売市場、伊座利漁港などを視察

・企業視察ツアー（韓国） 各約20名

（開催日程）令和4年12月14日（水）～18日（日）

令和5年2月22日（水）～26日（日）

令和5年3月8日（水）～12日（日）

（視察内容）大塚国際美術館などの訪問に加え、神山グリーンバレー、未来コンビニ、黄金の村などを視察

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

（1）指定管理業務の充実・強化策

令和4年度は、当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった第4期目（令和3年度から令和7年度まで）の2年目であったが、前年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、多目的ホールイベントの延期やキャンセルがあった。

しかし、リピーター等によるイベントは少しずつ回復傾向にあることから、より一層、多目的ホールの利用促進及び稼働率や使用料収入のアップを図るため「アスティとくしま開館30周年記念プレイベント」や「アスティとくしま見学会」の開催、経済波及効果が見込まれる「興行への支援助成金の交付」などの新規事業にも取り組んだ。

自主事業や利用促進事業においても、今後の多目的ホール等の利用を促すため、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。

また、誘致活動においても感染症対策を行いながら、下半期以降は、県外で開催される「全国展示場連絡協議会」や「中四国地区コンベンション誘致懇談会」などへ参加するとともに、多目的ホールでの利用が期待できる主催者やリピーター等を訪問するなど営業活動を行った。

大型映像装置更新により多目的ホールの開館日数が減少したため、開館日数や稼働日数、使用料収入等は減少したものの、稼働率は前年度を上回った。

なお、7月の「令和4年度全国高等学校総合体育大会」においては、秋篠宮皇嗣殿下・妃殿下がお成りのためご来県くださり、当館をご訪問された。

アスティとくしまとしては、10年ぶりの皇室行事であり、観光協会を挙げて万全の態勢でお迎えし、滞りなく全ての行事を終えることができた。

① 利用状況

内 訳	令和3年度	令和4年度	前年比
多目的ホール・会議室			
開館日数	344日	310日	90.1%
稼働日数	209日	190日	90.9%
稼働率	60.8%	61.3%	100.8%
使用料金額(ホール・会議室)	107,476,820円	82,080,450円	76.4%
駐車場			
利用台数	156,787台	131,111台	83.6%
利用金額	31,357,400円	26,222,200円	83.6%

（令和3年度から、第5会議室・第6会議室はときわプラザに移管した。）

※県による「新型コロナウイルスワクチンの大規模集団接種」が、前年度（2月1日）から第1特別会議室で行われていたが6月29日で終了した。

② 全国展示場連絡協議会への参加

新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染症対策を行いながら全国展示場連絡協議会の会議等へ参加するなど誘致活動を行った。

ア 全国展示場連絡協議会第7・第8ブロック総会

（開催日）令和4年10月13日（木）

（場 所）海峡メッセ下関（山口県）

イ 全国展示場連絡協議会第7・第8ブロック実務担当者会議

（開催日）令和5年3月9日（木）

（場 所）海峡メッセ下関（山口県）

（2）感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、これまでに手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入等に加え、事務室受付への除菌空気清浄機の設置のほか、抗ウイルス・抗菌性ワックスにより、館内の入口扉（取っ手）、各会議室の机、照明や空調スイッチ、コピー機やFAXのタッチパネル等の加工処理を行った。

令和4年度も、抗ウイルス・抗菌性ワックスによる共用部や備品等への処理を行うなど、引き続き、必要な感染症対策に努めた。また、県から出された「とくしまアラート」等のアスティ全体への掲示や来館者へのマスク着用、手洗いや手指消毒、3密回避等の注意喚起などにも努めた。

（3）館内設備の維持更新等

館内設備の維持については、定期的な点検により故障や事故の未然防止に努めるとともに、設備の維持や修繕については、経年劣化状況や優先度を把握し、安全性とコストの両面から検討を行い、県との事前協議を綿密に行いながら効率的、効果的に実施した。

なお、今年度、県が県有施設寿命化計画に基づく「中長期保全計画」の策定に着手したため、指定管理者として全面的な協力を行った。

今後は、当該計画及び「アスティとくしま設備等修繕・更新計画」等に基づき、県とも有機的な連携を図りながら、「安全・安心・快適」な管理運営を確保するため、適時適切な修繕に努めてまいりたい。

（4）県指定事業

① アスティおどりひろば

阿波おどり期間中の昼間対策として実施する

「アスティおどりひろば」は、新型コロナの感染者数が増加していたものの、徳島市の阿波おどりが開催されたことから、万全の感染対策を行い、入場無料で完全事前申込制とし4日間開催した。

従来は午前と午後の1日2回公演であるが、コロナ禍であることや各連とも踊り手の確保が難しい（合同連あり）ことなどから、午後の1日1回公演とした。今年度は、新たに県内4大学の連が日替わりで出演した。



(開催日) 令和4年8月12日(金)～15日(月)
(入場者) 延べ3,720名

(5) 自主事業

① 秋の阿波おどり

「秋の阿波おどり」は、出演前の健康チェックや控室での感染対策を十分に行い、昨年度に引き続き、徳島県と共同開催した。

有名連による「阿波おどり大絵巻」に加え、県外連が技を競う「全国阿波おどりコンテスト」、海外連のゲストを招いた「世界に広がる阿波おどり」、高校・大学の「学生連による阿波おどり」などを実施した。また、多目的ホール内での飲食を避けるため、初めて「キッチンカーマルシェ」を開催し15台が多目的広場に出店した。

更に、「北山たけしコンサート」、「県内特産品の販売ブース」、藍染や木工の「伝統工芸体験コーナー」等の出展により、交流人口の拡大やにぎわいの創出を図った。

事前に県外旅行会社等への営業活動を行ったところ、県外からの観光バス等は、5日に6台、約160名の送客があった。

(開催日) 令和4年11月5日(土)～6日(日)
(入場者) 延べ8,500名



② 明日亭徳島落語会

地域のにぎわい創出・伝統文化の振興及び地元の方々に親しまれる施設を目指し、例年新春に実施してきた落語会。

ファイナルとなる「第20回明日亭徳島新春寄席」として「桂七福氏」の落語会を実施するとともに幕間には、徳島文理大学和太鼓部「億」の演目を取り入れ、多目的ホールで開催した。

(開催日) 令和5年2月11日(土・祝)
(入場者) 延べ130名



③ 徳島ヴォルティス アウェイ戦パブリックビューイング

2023シーズンの「徳島ヴォルティス」J1再昇格を願い、多目的ホールの空き日を利用して、徳島ヴォルティスと共催でアウェイ戦のパブリックビューイングを開催した。

また、Jリーグウォーキングと題し、アスティとくしま周辺にて、約3kmのウォーキングイベントも開催された。

(開催日) 令和4年10月8日(土)
徳島ヴォルティス 対 V・ファーレン長崎
(入場者) 延べ550名



④ 企業等の周年記念イベントやお客様イベント等の誘致

周年記念を迎える企業やお客様を対象としたイベント等を開催する可能性のある企業163社に対し、案内文を送付し「アスティとくしま企業誘致見学会」を開催した。

当日の参加者に対して、次年度は、アスティとくしまが開館30周年を迎えることや、リニューアルされた大型映像装置の紹介等を行った。

また、可動式ロールバックや昇降床の移動の模様等をご覧いただくとともに、大会や展示会・運動会・コンサートなど各種のバージョンに応じて利用できること、その場合の使用料の概算などを紹介し、コロナ禍収束後の多目的ホールでのイベント開催を依頼した。

(開催日) 令和4年11月24日(木)

(参加者) 16社・団体、24名



⑤ アスティ阿波奏舞祭

令和2年度から、県内各大学の阿波おどりをメインとした学生サークルに、活動発表の場を提供しているが、出演者・来場者ともに好評であることから今年度も開催した。

第3回目となる今回は、県内4大学による阿波おどりに加え、ダンスや合唱、演奏など、12サークル・約200名が出演し、若さ溢れる演技が行われた。

(開催日) 令和5年1月22日(日)

(入場者) 延べ410名<出演者除く>



⑥ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

阿波おどりの練習場所として、多目的ホールの空き日を有名連に提供するとともに、練習風景の観覧情報を市内の宿泊施設等に発信し、観光客に練習風景を観覧いただくことで、観光振興とにぎわいの創出に努めている。

阿波おどりの練習は、4月に6日間・6月に6日間・3月に8日間行ったが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、練習風景の観覧を実施できたのは3月の8日間のみだった。

⑦ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場は、県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用しており、今年度も、引き続き写真展やパネル展等を開催し、県内各地のPR活動を支援した。

開催期間	展 示 内 容
3/26～ 4/20	阿波市フォトコンテスト受賞写真展
4/26～ 5/26	四国の右下で世界初を体験しよう！
6/ 1～ 6/30	国宝鳥獣人物戯画狸バ-ジ-ョソコソコ入賞作品展示発表会
7/ 5～ 7/31	「渦潮・大鳴門橋」紹介写真パネル展
8/ 3～ 8/30	みんな集まれ「南つるぎに」奇跡のロストワールド
9/ 1～ 9/30	第9回千年のかくれんぼフォトコンテスト写真展
10/ 4～ 1/22	大歩危祖谷温泉郷 絶景ロマン癒やしの湯パネル展
1/24～ 2/23	鳴門百景フォトコンテスト2022受賞作品展
3/ 1～ 3/31	阿波市の魅力を届けよう！フォトコンテスト

⑧ SDGs推進施策

今年度も、クールビズやウォームビズ対応に引き続き取り組むとともに、省エネ、環境対策を図った。

また、災害備蓄品のローリングにあたり、旧備蓄品については、徳島県社会福祉協議会を通じて県内の生活困窮世帯等に配布する取組みを新たに開始し、多くの関係者から感謝と喜びの声が寄せられた。

(6) 利用促進事業

① 大会・会議等の誘致事業

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、観光・コンベンション振興課との連携により、コンベンション誘致関連イベントに参加し、各団体や各種大会事務局等と商談するなど、コンベンション誘致を図った。

ア 中四国地区コンベンション誘致懇談会

(開催日) 令和4年12月1日(木)

(場 所) 品川プリンスホテル(東京都)

イ MICE EXPO in Kansai

(開催日) 令和4年12月7日(水)～8日(木)

(場 所) インテックス大阪(大阪府)

ウ 国際MICEエキスポ

(開催日) 令和5年2月16日(木)

(場 所) 東京国際フォーラム(東京都)

② 地元企業等のイベント誘致事業

多目的ホールや会議室の利用促進を図るため、企業や団体等に対しイベントの開催場所としての営業活動を行った。

具体的には、6月に近隣企業を訪問し、アスティとくしまでのイベント開催依頼を行うとともに、7月には県内の企業等165社に対して、アスティとくしまでのイベントの開催依頼文を送付した。

さらに、1月に多目的ホールのリピーターや新規利用の可能性のある主催者を訪問し、誘致活動を行った。

③ アスティとくしま開館30周年記念プレイベント

次年度がアスティとくしま開館30周年に当たることから、設置目的である交流の促進と観光・産業の振興に寄与することを目指し、「四星球20周年企画&アスティとくしま開館30周年記念プレイベント『徳島ジッターバグ』」を開催し、交流人口の拡大と地域の活性化を図った。



(開催日) 令和4年10月29日(土)と30日(日)

④ 興行への支援助成金交付事業

有名アーティストやスポーツ選手等による興行は、県外からの参加者も多数あり、宿泊や飲食を伴うなど地域への経済効果が見込まれる。

このことから、興行の開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者に対し、支援助成金を交付した。

(交付件数) 3件

(交付金額) 940,000円

(参加者数) 18,197名(県外13,764名、県内4,433名)

⑤ ホームページのリニューアル

主催者や来場者等が、アスティとくしまのホームページを検索しやすく、施設概要をはじめ、イベント情報や利用方法などを分かりやすくするため、ホームページをリニューアルすることとしている。

令和4年度は、委託候補となる複数の事業者が、新型コロナや経済環境の急変等により対応が不可能とのことで、プロポーザル実施スケジュールがずれ込み、次年度にリニューアルすることとしている。

⑥ その他

更なる利用者サービスの向上を図るため、予約管理システムなどを適宜改良することで、より利用者目線に立った施設づくりに努めた。

また、当施設が徳島市の「津波避難ビル・緊急避難場所」に指定されていることも踏まえ、避難対応訓練、非常時備蓄品の確保などに努めるとともに、各種訓練を行った。

ア 自衛消防訓練の実施について

(開催日) 令和4年6月20日(月)

(内 容) 自衛消防実施訓練

(参加者) 39名

イ 防火防災訓練の実施について

(開催日) 令和5年2月20日(月)

(内 容) 第1部 地震・津波の防災対策等について

第2部 初期消火・避難誘導等について

消火器・消火栓を使用した消火訓練

(参加者) 28名

- ウ 普通救命講習の実施について
 （開催日）令和4年12月14日（水）
 （内 容）心肺蘇生法、AEDの使用方法、異物除去及び大量出血時の止血法
 （参加者）31名
- エ 人権研修
 （開催日）令和5年1月11日（水）～1月31日（火）
 （参加者）観光協会職員
 （内 容）各自でデジタルコンテンツ一覧から選択し視聴
- オ リスクマネジメント研修
 （開催日）令和4年4月、令和5年3月
 （参加者）アスティとくしま職員
 （内 容）自然災害、情報セキュリティ、対人トラブルなどの危機を回避する研修

2. 徳島県立男女共同参画総合支援センター（ときわプラザ）の管理運営事業

（1）指定管理業務の充実・強化策

令和4年度はアスティとくしま同様、当協会が継続して「ときわプラザ」の管理運営を担うこととなった第4期目の2年目であり、新型コロナウイルス感染症の影響もあったものの、イベントは少しずつ回復傾向にある。

新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、県外で開催された全国展示場連絡協議会第7・第8ブロック会議や中四国地区コンベンション誘致懇談会等にも積極的に参加するとともに、アスティとくしま見学会の開催時には「ときわホールや会議室」の利用促進を図るための広報なども行った。

これらを踏まえ、関係者等との連携を密にしながら、アスティとくしまを含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホールや会議室等の利用率向上に努めたところ、ときわホールの稼働日数や稼働率、使用料収入は前年度を上回った。

（2）利用状況

内 訳	令和3年度	令和4年度	対前年比
ときわホール			
開館日数	347日	353日	101.7%
稼働日数	98日	117日	119.4%
稼働率	28.2%	33.1%	117.4%
使用料金額(ホール・会議室)	6,921,530円	10,112,520円	146.1%
第5会議室			
開館日数	347日	354日	102.0%
稼働日数	88日	185日	210.2%
稼働率	25.4%	52.3%	205.9%

内 訳	令和3年度	令和4年度	対前年比
第6会議室			
開館日数	352日	354日	100.6%
稼働日数	118日	122日	103.4%
稼働率	33.5%	34.5%	103.0%

展示ギャラリー			
開館日数	346日	353日	102.0%
稼働日数	177日	175日	98.9%
稼働率	51.2%	49.6%	96.9%

(令和3年度から、新たに第5会議室・第6会議室が設置された。)

(3) 誘致活動状況

県内の企業等165社に対してイベント開催依頼文を送付するとともに、「施設の見学会」や「県内企業の営業訪問」などの誘致活動を、アスティとくしまと一体的に行った。

(4) 事業実施状況

項 目	実施概要
徳島新聞「映画と催し」欄への掲載	「アスティとくしま」と同様に掲載し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化

渦の道等の管理運営については、共同管理運営者である(株)ネオビエントと連携し、安心・安全を第一義に前年度に引き続き基本的な感染防止対策を実施し、コロナ禍に見合った自主事業の開催による入館者の満足度向上や、国内外の旅行会社等に対しオンラインを活用した営業活動を行い利用促進に努めた。

個人客は、コロナ禍前並みに回復し、渦の道の3月入館者は指定管理開始以降、3番目に多い入館者数となった。団体客は、減少傾向のままであるが、インバウンドの団体客が徐々に回復してきており、国内団体客を補う形で利用を伸ばした。

(2) 利用状況

内 訳	令和3年度	令和4年度	前年比
渦の道			
入館者数	257,147名	458,933名	178.5%
入館料	98,410,110円	181,937,490円	184.9%
エディ			
入館者数	37,492名	54,454名	145.2%
入館料	13,314,190円	21,156,860円	158.9%

(3) 徳島県立渦の道及び大鳴門橋架橋記念館エディの共通利用促進

① 鳴門公園地域渋滞対策事業

観光客が集中するGW期間（5月3日～5日）、お盆期間（8月12日～15日）は、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、3年ぶりにシャトルバスを運行した。鳴門公園地域の渋滞緩和の役割を果たすとともに、コロナ禍でも安心して利用いただけるよう、バス運行など最新のガイドラインに沿いながら、専門家のアドバイスを取り入れ熱中症対策も並行して行い事故防止に努めた。

② 鳴門公園のにぎわいづくり

渦の道・エディ及び鳴門公園内で楽しめるフィールドワークイベントを開催した。お茶園展望台で開催したネイチャーゲームでは、国立公園ならではの樹木等を観察し、落下している木の実の触感や花の匂いなど五感をとおして植物の観察を楽しんだ。また、鳴門公園コンシェルジュ（観光ボランティアガイド）の協力のもと、クイズ形式で楽しみながら自然観察を行った。



（5月28日 鳴門公園お茶園展望台などを会場に開催）

③ 旅行業者等への営業活動

四国ツーリズム創造機構が主催する商談会や、徳島県が実施する旅行会社との商談会に直接面談やリモート営業で参加した。直接お会いして営業活動を実施できたのは約3年ぶりであり、直接「すぐ知りたい情報」を提供できる貴重な機会となった。最新の情報等を、鳴門公園地域から他の県内エリアへ波及できるよう案内し、周遊観光の推進に努めた。



④ 地元大学生との魅力発信事業

鳴門公園の撮影スポットをテーマに四国大学と協力し「鳴門公園エリアで映えスポットを探そうプロジェクト」として実施した。フォトジェニックなスポットを学生目線で探してもらい、鳴門公園エリアの隠れた撮影スポットを紹介したものを季節毎にコンテンツ集にまとめSNS等で発信した。

⑤ 徳島県文化伝承PR展示

国が行うイベント需要喚起事業「イベントワクワク割事業」に参画し、「徳島の文化伝承」をテーマに、渦の道ロビーにて「大谷焼の陶器」を展示した。

期間中は当イベントに準じてチケット販売を減額するなど、コロナ禍でもお得に安心して観光を楽しめるイベントとなった。

(1月14日～1月31日 チケット販売枚数169枚)

(4) 徳島県立渦の道の利用促進

① ロケーション誘致活動

今年度は海外からの取材も行われ、中でも1月23日に渦の道で取材や撮影が行われたイタリア国営放送局のテレビ番組では、ドローン撮影も実施し鳴門海峡の壮大な景色などが世界に紹介される貴重な機会となった。

② 観光ボランティアガイド「鳴門公園コンシェルジュ」案内活動

鳴門公園コンシェルジュによる観光ガイド案内を本格的に再開し、「新しい旅のエチケット」等の旅行ガイドラインを利用客にはお願いし、適切な距離や会話時間を守りながら案内に努めた。今後も渦潮や鳴門公園エリアの魅力などを語る中心的な存在となるよう、案内技術をブラッシュアップしながら実施する。

③ 初日の出イベント

「初日の出in渦の道」を3年ぶりに開催し、早朝からカメラやスマホを手にしたお客様が日の出方向を一心に見つめる様子で溢れた。また、コロナ禍のため飲み物のふるまい等は中止したが、マスクの着用などの基本的な感染防止対策をお願いすることでお客様には安心して初日の出を楽しんでいただいた。(1月1日 初日の出入場約300名)

(5) 徳島県立大鳴門橋架橋記念館エディの利用促進

① JAF DAY in大鳴門橋架橋記念館エディ

JAFと共催イベントとして、「夏休み渦潮研究親子体験ツアー」を開催し、鳴門公園コンシェルジュが渦潮のメカニズムや、大鳴門橋の橋梁技術の説明を行い、参加者は特別なガイド案内付き見学ツアーを楽しんだ。大鳴門橋架橋記念館エディのグッズが抽選で当たるカプセルトイや、交通マナーが学べるコーナーなど楽しみながら学習ができる体験イベントとなった。

(8月27日 親子体験ツアー参加者15名)



② フォトコンテスト作品展示

エディ3階の多目的スペースで、東かがわ市と鳴門市によるフォトコンテスト優秀作品の写真を展示した。東かがわ市の展示は手袋の町ならではのパペットも展示され、近隣エリアの魅力を多角的に紹介することができる取り組みとなった。（2月28日～3月22日）



③ 地元団体とのタイアップイベント

「春の渦まつり」開催に合わせて、エディ2階では「特別フォトスポット」を設置し、春らしい桜の和柄モチーフを背景に渦潮を思わせる和傘をあしらい、旅の記念撮影スポットとした。

渦開きの時期に合わせてイベントを開催することで、鳴門公園エリアの賑い創出に努めた。（3月4日～3月31日）

